

平成 22 年 6 月 18 日現在

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2008～2009

課題番号： 20790935

研究課題名（和文） 胸腺移植による免疫寛容の誘導

研究課題名（英文） Induction of tolerance by thymic transplantation in rat model.

研究代表者

昇 修治 (Nobori Shuji)

京都府立医科大学・医学研究科・助教

研究者番号：30433288

研究成果の概要（和文）：移植免疫寛容における胸腺の役割、拒絶反応の臓器特異性を検討する目的でラット胸腺+腎・心・肝移植を行いました。発表に値する成果は得られませんでした。

研究成果の概要（英文）：Our study investigated if thymic transplantation can support to induce tolerance to renal,cardiac or liver allografts across a full MHC mismatch in rat model. However we could not obtain novel findings and results to report.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008 年度	700,000 円	210,000 円	910,000 円
2009 年度	400,000 円	120,000 円	520,000 円
年度			
年度			
年度			
総計	1,100,000 円	330,000 円	1,430,000 円

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：外科系臨床医学・外科学一般

キーワード：移植外科学

1. 研究開始当初の背景

これまで様々なモデルで胸腺移植により免疫寛容が誘導され、胸腺が重要な役割を果たしていることが報告されている。

2. 研究の目的

ラット胸腺を血管付きグラフトとして移植することで、他の種々の臓器との同時移植を行い、免疫寛容における胸腺の役割・臓器特異性について研究する。

3. 研究の方法

レシピエントとドナーはMHCフルミスマッ

チのラットを用い、胸腺+腎・心・肝移植、胸腺単独移植を実施する。血液検査・生検・MLRで拒絶・免疫寛容の評価を行う。

4. 研究成果

2008-2009年度の研究実施計画に沿って、胸腺+腎・心・肝移植を行って移植免疫寛容における胸腺の役割、あるいは拒絶反応の臓器特異性を検討しましたが、発表に値する成果は得られませんでした。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 0 件)

[学会発表] (計 0 件)

[図書] (計 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況 (計◇件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

[その他]

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

昇 修治 (Nobori Shuji)

京都府立医科大学・医学研究科・助教

研究者番号: 30433288

(2) 研究分担者

()

研究者番号:

(3) 連携研究者

()

研究者番号: